

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	情報	科目	社会と情報	学年	2
担当者				単位数	2
使用教科書	日本文教出版 新・社会と情報				
使用教材					
教科・科目の指導目標	情報の特徴や情報化が社会に及ぼす影響を考えることができ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養う。情報化社会に積極的に参画する態度を育成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	社会と情報とは コンピュータとデジタルデータ 情報社会で求められる力	情報とは何かを考えられる 学習の見通しを持つ 自己評価を通して自身の課題を見つける 情報の基本的な単位を理解し、デジタルの特徴がわかる コンピュータの基本的な操作ができる 安全なパスワード フォルダの使い方 文字のデジタル化が理解できる 音のデジタル化が理解できる	12
6月7月	1学期期末考査	情報の収集と発信	画像のデジタル化が理解できる 必要な情報を効果的に収集できる 収集した情報の真偽が見分けられる 情報の受信者を意識した情報発信ができる	11
7月10月	2学期中間考査	情報の収集と発信 画像データの取り扱い 映像データの取り扱い 音のデータの取り扱い インターネットの仕組み	Webの基本的な仕組みを理解し、簡単なページを作成し、情報を発信することができる 映像データを編集したり、静止画像や音と組み合わせることができる インターネットの仕組みや通信の仕組みが理解できる	18
10月12月	2学期期末考査	数値データの活用 問題解決 仮説と検証	データとは何かを理解し、効果的な活用の仕方を理解する。 グラフや関数を利用しての表の活用ができる 問題解決で使える手法 仮説を立て、アンケートや自ら収集した情報などをもとに検証することができる	12
12月3月	学年末考査	課題研究 プログラミング	社会を支える様々な情報システムや情報化社会の様々な問題について、情報を収集し、検証し、発表することにより、情報の共有を行うための課題研究を行う 教育用プログラム言語「ドリトル」を利用し、プログラムの基礎に触れる	17

評価の観点・方法	学習に参加する態度、提出された課題、発表内容、期末テスト等を総合的に評価する
----------	--